

木曾川森林計画区

第四次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成25年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	3
(4)	伐採総量	4
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	6
3	林道の整備に関する事項	7
4	治山に関する事項	8
5	保護林の名称及び区域	9
6	レクリエーションの森の名称及び区域	11
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	17
8	その他必要な事項	17
(1)	施業指標林、試験地等	17
(2)	フィールドの提供	20
(3)	森林共同施業団地	21

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積分散伐区 枝打	449.23	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時モザイク的配置となり、林齢、林相が異なる多様な森林で、枝打により材の付加価値を高めた林木からなる森林。	スギ 50 ヒノキ 50
	小面積分散伐区	902.47	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時モザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 65 カラマツ 60
(長期)	長伐期	2,056.58	育成単層 林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 130 カラマツ 100

(単位：ha、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐	225.36	育成複層 林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林（一時的に単層状態になる場合も含む）。	スギ [60] 一時単層状態 80 常時複層状態 120 ヒノキ [65] 一時単層状態 85 常時複層状態 130
	人工林 長伐期 複層伐	359.73	育成複層 林施業	木曽ヒノキの代替材を生産する人工林で、複層伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り、複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	180 [150]
漸伐 複層型	人工林 漸伐 複層型	363.55	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	80
	天然林 漸伐 複層型	1,346.81	育成複層 林施業		N 200 L 180
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	842.54	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	85 (35)
	天然林 択伐 複層型	498.27	天然生林 施業		N 200 (35) L 180 (25)
	木曾 ヒノキ 択伐	632.01	育成複層 林施業		(50)
その他		59.67	遺伝子保存林、検定林、試験地、精英樹保護林等の目的による。		
合計		7,736.22			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[] は複層林の初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐施業群については、一時単層状態の伐採期（スギ80年、ヒノキ85年）時点の下木の成育状況により一時単層状態として伐採（後伐）を行うか、常時複層状態に移行させるかの選択を行えることとし、選択した伐期齢以上で後伐を行うものとする。（帯状複層林を除く）

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：h a)

施 業 群	上限伐採面積
小面積分散伐区枝打	44.92
小面積分散伐区	69.42
長 伐 期	79.09
人工林複層伐	18.02
人工林長伐期複層伐	19.98
漸伐複層型	42.75
択伐複層型	191.54
木曾ヒノキ択伐	63.20

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地 災害 防止 タイプ	土砂流出崩壊防備		(196.69) 26,926	26,926				
	気象害防備							
	計		(196.69) 26,926	26,926				
自然維持タイプ								
森林空間利用タイプ			(34.97) 4,827	4,827				
快適環境形成タイプ								
水 源 <small>かん 涵</small> 養 タ イ プ	小面積分散伐区枝打	27,734	11,323	39,057				
	小面積分散伐区	38,044	11,370	49,414				
	長 伐 期		27,150	27,150				
	人工林複層伐	357	5,528	5,885				
	人工林長伐期複層伐		3,252	3,252				
	人工林漸伐複層型		218	218				
	人工林択伐複層型		8,391	8,391				
	木曾ヒノキ択伐	499		499				
	計	66,634	(545.95) 67,232	133,866				
合 計		66,634	(777.61) 98,985	165,619	14,381	180,000		180,000
年 平 均		13,326	19,797	33,123	2,876	36,000		36,000

(注) () 書きは間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
中津川市	48,735	76,547	125,282				
瑞浪市							
恵那市	17,899	22,438	40,337				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 ^{かん} タイプ [°]	合 計
人 工 造 林	単層林造成					97.67	97.67
	複層林造成					0.73	0.73
	計					98.40	98.40
天 然 更 新	天然下種第1類	31.60				34.21	65.81
	天然下種第2類						
	計	31.60				34.21	65.81
合 計		31.60				132.61	164.21

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイ°	自然維持 タイ°	森林空間 利用タイ°	快適環境 形成タイ°	水源涵養 ^{かん} タイ°	合 計
保 育	下 刈					556.18	556.18
	つる切	62.29				80.16	142.45
	除 伐	98.07				232.11	330.18
	枝 打					3.10	3.10

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	箇所 (林班名)		延長	備考
基幹	改良	恵那山	1007～1028	3箇所	80	
		〃	1072～1097	4箇所	100	
		阿木恵那	1032～1050	3箇所	40	
		恵那山中腹(上流)	1018	1箇所	20	
		阿木	1044	2箇所	40	
		白井沢合川(白井沢)	1055～1073	3箇所	40	
		白井沢合川(合川)	1091～1094	3箇所	50	
		阿岳谷鯉子	1061～1065	1箇所	20	
		夕森田立(丸野)	2003～2017	2箇所	40	
		白川付知	1～40	4箇所	70	
		瀬戸川高樽	70～71	5箇所	90	
		阿寺タツガヒゲ	114～118	4箇所	60	
		計			35箇所	650
その他	開設	高時山(カシモ谷)	11～14	1箇所	1,600	
		高時山支線(カシモ谷)	15,16	1箇所	1,147	
		阿岳谷	1064	1箇所	1,085	
		ホーキ谷	1080,1081	1箇所	1,000	
		計	4箇所	4,832		
その他	改良	城山	1109～1107	1箇所	20	
		水晶山	1100	1箇所	40	
		木の実支線	1110	1箇所	20	
		橋ヶ谷	1038～1039	1箇所	20	
		乙女谷	1049～1051	1箇所	20	
		黒井沢	1018	1箇所	20	
		阿岳鎗	1070～1078	4箇所	50	
		檜根(下流側)	1056	1箇所	40	
		川上	2021	1箇所	50	
		巢乗	2024～2027	1箇所	20	
		巢乗支線	2027	1箇所	20	
		賤母沢	698	1箇所	20	
		高時山(カシモ谷)	14～18	1箇所	20	
		オケゴヤ	52～56	2箇所	30	
		出水谷	84	1箇所	20	
		大滝(下)	61	1箇所	20	
		臼ヶ久保	2227	1箇所	20	
栃の木洞	2206	1箇所	20			
計			23箇所	470		
合計	開設		4箇所	4,832		
	改良		58箇所	1,120		

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
付知川最上流 3、中津川上流 3、中津川上流 8、 中津川上流 11、坂下 1、坂下 2、神坂 1、 神坂 2、神坂 4、上矢作 2、上矢作 3、上矢作 4、 上矢作 5、上矢作 9	保全施設	溪間工	14
付知川最上流 1、付知川最上流 3、 付知川最上流 4、中津川上流 3、中津川上流 8、 中津川上流 11、岩村大井 1、坂下 1、神坂 1、 神坂 2、神坂 3、上矢作 3、上矢作 4、上矢作 5	保全施設	山腹工	14
中津川上流 8	保全施設	その他	1
木曾川計画区管内の保安林区域内	保安林の整備	保安林改良	333.28
合 計	保全施設	溪間工	14
		山腹工	14
		その他	1
	保安林の整備	保安林改良	333.28

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林の名称及び区域

(1) 林木遺伝資源保存林

(単位：h a)

名 称	新設 既設	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
名古屋ヒノキ サワラ10	既設	44.16	88い	木曽ヒノキを主体 に一部サワラが混生 している天然林であ る。	原則として、伐採は行わ ない。 ただし、保存対象樹種の 安定的な存続を図るため に必要な場合は、枯損木、 被害木の除去を中心とし た弱度の択伐を行う。
賤母ヒノキ 等	既設	71.46	700い・ろ 701い	木曽ヒノキ、モ ミ、ツガ、コウヤマ キ等の天然林であ る。	
面 積 計		115.62			

(2) 植物群落保護林

(単位：h a)

名 称	新設 既設	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
東股木曽五木	既設	8.59	124ち 125と	木曽ヒノキ、サワ ラ、ヒバ、コウヤマ キ等がまとまって生 育している。	原則として、人手を加え ず自然の推移に委ねた 保護管理を行う。
恵那山シラベ	既設	492.21	1010林班 1015林班 1016は 1020林班 1021い・ろ	岐阜県における、 シラベの南限にあ たる。	
小里コウヤマ キ	既設	18.73	1117ろ・に・ほ	コウヤマキの分布 下限近くに位置する 林分である。	

名 称	新設 既設	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
賤母ヒノキ 等	既設	20.68 (50.97)	698わ～た 699い～に・へ・ ち・イ 700は	温・暖帯の森林 植生の接点に当た る箇所であり、急 峻な斜面に500種以 上の植物が生育 し、木曾谷の一般 的な森林と異なる 特異な植生を形成 している。 注：()は隣接する 木曾谷森林計画区を 含む保護林全域の 面積である。	原則として、人手を加えず 自然の推移に委ねた保護管 理を行う。
面 積 計		540.21			

(3) 郷土の森

(単位：h a)

名 称	新設 既設	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
いわむら	既設	47.86	1102ほ・へ 1103ろ～る 1104林班 1105ろ	岩村城跡周辺に旧 藩時代のスギ、ヒノ キ、アカマツ等の林 分が残されている。	自然の推移に委ねた保護 管理又は現状の維持に必 要な森林施業を行うことを基 本とし、保護・管理・利用計 画書により行うものとする。
面 積 計		47.86			

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

(単位：h a)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
付知峡	既設	521.74	ゾーン区分別の林小班一覧表のとおり	裏木曽県立自然公園内にあり、付知川の清流、大小様々の滝、清流に沿って生育する木曾ヒノキ、サワラ、シデ、カエデ等の針広混交の天然林と、人工林が優れた峡谷美を呈しており、キャンプ、自然観察等多様な森林レクリエーションの場として適している。		歩道(国・中津川市) 野営場(中津川市) 園地(中津川市)		
面積計		521.74						

付知峡自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：h a)

ゾーン区分	面積 (h a)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
自然観察教育ゾーン	398.91	43ろ～ほ、46ろ、48は・ち 49い～へ、50ろ・へ・と 51は、54ろ、55い、58い 59は・に、60い・ろ、61ろ 76へ、77い～は・へ 78い、79い・ろ・に、80い 97い、98い	育成複 層林施 業	歩道(国・中津川市)		
		46に、48に、50は、55は 58ろ、77に・ほ 78ろ～に、79は、80ろ 97ろ、98ろ	天然生 林施業			
		58イ 79イ	林地以 外			
風致探勝ゾーン	122.83	1に、2に、4い・に・と 9は、10と・ち・ぬ 11は・に・ぬ、12に 13に、14は、18ろ、19と 29は～ほ、30ほ・ち・り 50に・ほ	育成複 層林施 業	歩道(中津川市) 野営場(中津川市) 園地(中津川市)		
		1は、2ろ・は、4は 5ろ・は・ほ、7ろ・は 8ろ～に、9ろ 10ろ・ほ・へ、11へ、19へ 29ろ、30へ	天然生 林施業			
		4口・ハ、29イ 50イ・ロ	林地以 外			

(2) 自然観察教育林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
アライ ダシ	既設	9.80	1086へ	木曽ヒノキ、ツ ガ、ブナ、ミズナラ 等多様な樹種が混生 し、自然観察の場と して適している。	天然生 林施業	歩道(恵那 市) 公衆便所(恵 那市)		
面 積 計		9.80						

(3) 森林スポーツ林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
乙 女 溪 谷	既設	13.92	174ち～ぬ ----- 153に 174と	シャクナゲ、ミヤ マツツジ、コブシ等 に彩られた溪谷が優 れた自然景観を呈し ている。 溪流沿いには、キ ャンプ場が整備され ており、森林スポー ツの場として適して いる。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業	歩道(中津川 市) 野営場(中津 川市)		

(単位：h a)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
ケヤ キ平	既設	11.94	2227い・は 2230と ----- 2227ほ 2230ほ ----- 2230イ～ハ・ト・チ	スギ、ヒノキの人工林とケヤキ、トチノキ、ミズナラ等広葉樹の天然林からなる森林で、林内にはキャンプ場が、周辺には運動公園が整備され、森林スポーツの場として適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業 ----- 林地以 外	野営場(中津 川市)		
夕 森	既設	7.74	2028- I は ----- 2027イ	川上川を中心に国設野営場が開設されており、民有林と共にキャンプ、ハイキング、釣り等森林スポーツの場として適している。	天然生 林施業 ----- 林地以 外	野営場(国・ 中津川市)		
面 積 計		33.60						

(4) 野外スポーツ地域

(単位：h a)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
奥三界	既設	8.90	2016- I へ 2016- II に ----- 2014- II ろ・は	奥三界岳山頂を中心に、ハイキング、登山等野外スポーツの場として適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業	園地(中津川 市)		
面 積 計		8.90						

(5) 風致探勝林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
東 股	既設	44.82	145い・ろ・ほ～と・り ----- 145は ----- 145口	東股谷の溪谷や不動滝と一体となって優れた自然美を構成する森林で、自然探勝に適している。 ○保健機能森林に該当	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	歩道(中津川市) 宿泊施設(中津川市)		
富 士 見 台	既設	44.08	2239へ 2240と ----- 2233イ 2234イ～ハ 2235イ 2238-Ⅱイ 2239イ 2240イ	神坂峠を中心とする富士見台高原一帯の地域である。神坂峠は奈良時代の東山道の要衝で、文化財にも指定されている祭祀遺跡がある。 「富士見台」からは恵那山の他、北、中央、南アルプスが眺望でき、ハイキング等自然探勝に適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	園地(中津川市) 野営場(中津川市)		
夕 森	既設	9.21	2003い・ぬ 2004へ 2010い 2026ち	川上川沿いの木曽ヒノキ、ヒバ、コウヤマキ等の森林と水触によりホールが形成された河川や滝等が特異な自然景観を呈し、自然探勝に適している。	天然生林施業	休憩施設(中津川市)		
面 積 計		98.11						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位: ha)

対象団地	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
川 上	103.26	2014-Ⅰい、2014-Ⅱい 2015ろ、2016-Ⅰは・ほ・と	育成複 層林施 業			
		2006は、2007は、2013ろ 2014-Ⅰろ、2016-Ⅱは	天然生 林施業			
		2014-Ⅰイ、2014-Ⅱイ	林地以 外			
湯 舟 沢	102.55	2227ろ、2239に 2240い・は～へ・ち 2241ち	育成複 層林施 業			
		2230へ、2233た、2234に 2235ほ、2238-Ⅱは 2239ろ・ほ、2240ろ 2241ろ・に	天然生 林施業			
上 村 恵 那	1.44	1059む 1060こ	天然生 林施業			

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：h a)

種類	名 称	設定 年度	面積	位置 (林小班)	備 考
施 業 指標林	木曾ヒノキ ポドゾル地帯 天 然 更 新 施 業 林	S 5 3	13.13	118は	木曾ヒノキポドゾル地帯（ササ型林床）における天然更新の確立に向けて、収穫から更新に至る施業の指標になる林分である。
	前更皆伐 天然下種更新 施業指標林	S 5 9	2.20	52ろ	伐採前に後継樹を発生・生育させることにより、更新を確実にを行うための指標になる林分である。
試験地	阿木恵那 ヒノキ 人 工 林 収 穫 試 験 地	S 3 7	0.52	1041る	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。
	阿木恵那スギ 人 工 林 収 穫 試 験 地	S 3 8	0.58	1041か	同 上
	出ノ小路 ヒノキ天然生 林林分成長量 固定調査地	S 2 9	3.65	93ろ	天然林における成長量、枯損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する。
	東股ヒノキ・ サワラ天然生 林林分成長量 固定調査地	S 2 9	4.47	119ろ	同 上

(単位：h a)

種類	名 称	設定 年度	面積	位置 (林小班)	備 考
次 代 検定林	関名第1号 一般ヒノキ	S50	0.58	31へ	精英樹クローンの交配種子を用いて養成した苗木を植栽し、精英樹の遺伝的素質を検定するための林分である。
	関耐寒風 名 営 3	S60	0.23	1006と	選抜された抵抗性個体の気象害または病虫害による被害の程度、生長およびその他の特性を調査し遺伝的素質の優劣を検定するための林分である。
	関長第3号 (一般)	S39	0.69	2237は	精英樹クローンの交配種子を用いて養成した苗木を植栽し、精英樹の遺伝的素質を検定するための林分である。
	関名第32号 (ヒノキ育種 集団林)	H20	0.31	1082れ	これまでの精英樹の次代検定林からの成果を基に、優れた第二世代品種を選択するために、両親の明らかな精英樹の交配実生苗による育種集団林を造成し検定するものである。
母樹林	木曾ヒノキ	S48	40.59	88い	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、樹形・材質が優良な種子を採取する林分である。
遺伝子 保存林	天ヒノキ	S44	3.65	93ろ	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保保存し、遺伝子補給源として活用する林分である。
	ヒノキ	S44	2.00 0.50	143ほ 143る	同 上
精英樹 保護林	ヒノキ 付知1号	S35	0.27	102は	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。
	スギ 中津川1号	S31	0.66	1099は	同 上

(単位：ha)

種類	名称	設定年度	面積	位置 (林小班)	備考
精英樹 保護林	ヒノキ 中津川2号	S31	0.23	1106は	現存林木の中から成長、形質の特に優れた 個体を精英樹として選出し、それらを保護、 保存するための林分である。
	ヒノキ 坂下1、2号	S32	0.15	2206は	同上
	ヒノキ 坂下3号	S32	0.10	2206に	同上
	ヒノキ 坂下7号	S32	0.10	2209ろ	同上
	ヒノキ 坂下8号	S32	0.10	2209は	同上
巨樹・ 巨木林	笠木 (ヒノキ)	H12	(1.44)	1059む・ 1060こ内	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推 進について」(平成11年12月20日付け林野業 第182号林野庁長官通達)により選定された 巨樹・巨木が賦存する林分である。 注:()は該当する林小班的面積である。
	神坂大檜 (ヒノキ)	H12	(29.38)	2248い内	
森林施 業モデ ル林	国土保全タ イプモデル林	H12	0.54	1109る	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国 民に分かりやすくアピールするために設定す るモデル林である。
		H15	1.32	2027り	

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：h a)

名 称	面積	位置 (林小班)	設定の目的等
大 松 の 森 (平成15年度設定)	5.84	2240ち 2241ち	協定相手方：特定非営利活動法人 恵那山みどりの会 協定期間：平成30年3月31日まで (平成24年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う 自主的な森林整備を推進す るためのフィールドとし設 定。

イ 木の文化を支える森

(単位：h a)

名 称	面積	位置 (林小班)	設定の目的等
裏木曾古事の森 (平成16年度設定)	23.20	77い	協定相手方：裏木曾古事の森育成協議会 協定期間：平成26年3月31日まで 目 的：貴重な歴史的建造物に必要 な大径木の森づくりに取組 み、木の文化を未来に継承 していくために設定。

ウ 多様な活動の森

(単位：h a)

名 称	面積	位置 (林小班)	設定の目的等
青川源流の森 (平成20年度設定)	649.34	1は・に、2ろ～に、4い・は・に・と・ロ・ハ 5ろ・は・ほ、7ろ・は、8ろ～に、9ろ・は 10ろ・ほ～ち・ぬ、11は・に・へ・ぬ、12に、13に 14は、18ろ、19へ・と、29ろ～ほ・イ 30ほ・へ・ち・り、43ろ～ほ、46ろ・に 48は・に・ち、49い～へ、50ろ～と・イ・ロ、51は 54ろ、55い・は、58い・ろ・イ、59は・に、60い・ろ 61ろ、76へ、77ろ～へ、78い～に、79い～に・イ 80い・ろ、94い、95い、96い、97い・ろ、98い・ろ 125へ、134は 東股田瀬林道（東股）：専用林道 入口から百間滝までの区間	協定相手方：NPO つけち 協定年度：平成29年度末まで (平成24年度末更新) 目的：国有林内における 民間団体の多様な 活動を推進するた めのフィールドと して設定。

(3) 森林共同施業団地

名 称	対象地 (林小班)		面積	連携した施業 の内容	備 考
中津川市加子母地区 森林共同施業団地	民	111～123林班	559.39	間伐等の森林整備や 作業路網の整備。	
	国	1～77林班	3,228.38		
計			3,787.77		